

平成31年4月

「為せば成る」

校長 鈴木 義祐

福島北高等学校長として2年目を迎えました。

本校は、昭和23年度に設立された福島県立信夫高等学校飯坂分校をはじめとし、幾多の校名変更を経て、昭和49年度には福島県立福島北高等学校へと改称になり、また、平成13年度には普通科から総合学科へと改編になりながら、歴史と伝統を積み重ねてきました。18,800名を超える卒業生を世に輩出し、昨年度は創立70周年記念式典を挙行了しました。

総合学科は、生徒一人一人の興味・関心等に基づく主体的な学習を通して、それぞれの個性を伸ばし、将来の生き方や進路についての考察を深め、社会に貢献する人材として必要な資質を育む学科です。生徒諸君には、このような学科の意義を改めて確認し、主体的に学習活動に取り組むことを期待しています。さらに、地域貢献に繋がる様々なボランティア活動も本校の大きな特色であり、生徒の人間的な成長に大きく反映されていると感じています。

今年度は、新たに総合学科第19期生160名を迎えました。1年次の「産業社会と人間」における多様な学習経験、2年次以降の系列選択、教科・科目の選択を通しての主体的な学び、3年次における「課題研究」における取り組みまで、総合学科ならではの学びを深めてもらいたいと願っています。

生徒諸君の可能性に限界はありません。自分の可能性を信じ、高い将来への夢と希望を抱き、その実現へ向けての努力を継続して欲しいと思います。本校教職員は、一丸となって生徒一人一人の「やればできる」を支援していきます。

保護者や地域の皆様方には、今後とも本校の教育活動に対する御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

